



宮司プレス第二十四号

彦島八幡宮 宮司ニユース

発行者 彦島八幡宮

宮司 柴田 宜夫

発行 平成二十年五月六日

宮司の柴田です。境内の楠若葉も目に

あざやかです。過日、正面鳥居の植え込みや神橋周辺の草抜き作業をしました。先帝であられた昭和天皇様は、「雑草という草はない、それぞれに名がある」と仰せになられました。今月四日が「みどりの日」と制定されたのは、自然に親しまれ植物の御研究を生涯続けられた先帝陛下の御功績を偲ぶものでもあります。自然の恵みに感謝し、草の生命力に敬意を表し、まさに「雑草の如く」という思いを新たにしているところです。

更衣(ころもがえ)をしました！ 当宮では、立夏を迎えた五月五日から更衣、夏装束になりました。夏の装束といつのは、生糸で織った、織り目があらく薄くて軽い織物、「うすぎぬ」の「紗(しゃ)」「で織られた装束です。曆の上では夏ですから、季節を先取りした事になりますね。少し違和感があるかもしれませんが、平安王朝の故事(ことば)にもなつたものです。立冬の前

日まで夏装束で、立冬から(今年)は十一月七

日(冬装束となります)。

五月は、「皐月(さつき)」です。これは、田植えが盛んで、早苗を植える月の意味で「早苗月(さなえつき)」と言っていたのを略し、「サツキ」になつたと考えられています。「サ」は、神様に捧げる稲を意味し、そこから稲を植える月の意味にもなつたといわれます。国字者の本居宣長(もとおり)のりなが(は)稲を植える事をすべてサといつので、サツキは「田植えの月」の意味と述べています。早乙女(さおとめ)、田植えをする女性の事で日本女性の尊称(うやまつ)、早苗(さなえ)、五月雨(さみだれ)等、田植えに関連がある月のようですね。日本人が生きていくうえで必要不可欠な「生きる根」である「稲」の尊さを再認識し、すべての食物は神様のおめぐみがあればこそ、心から感謝をする月ではないかと思えますね。

豊かさのなかの貧しさ
世界の現状から見て我が国は、十分に豊

かな国であります。六十二年間戦争がない、世界第二位の経済大国、高齢化社会が問題になるほど健康長寿、多くの国民が高等教育を受けられる、まさに豊かな国であります。

このような豊かな日本の国で生かされて自由に暮らしているが、これを当たり前だと感じ、さらにもっと何かを望んでいるような気がします。「有り難い」という感謝の気持ち、何も持たない豊かさ、「お蔭様」という謙虚な気持ち、目には見えない豊かさが置き去りにされているような気がしてなりません。物は豊かでも、心が貧しいのです。

今月の第二日曜日は「母の日」です。戦前は、先帝皇后陛下である香淳皇太后陛下のお誕生日である三月六日の地久節(ちきゅうせつ)、天皇陛下のお誕生日が天長節、皇后陛下のお誕生日が地久節(じきゅうせつ)が、母の日でした。被災地を天皇陛下と共に訪ねになられ、慈しみ深くお声を掛けられる皇后陛下の御姿、弱い立場にある方々に手を携えられる御姿勢など、まさに国民の「母親」の象徴であります。世界の立憲君主国の中で最も人口が多く、歴史も最も古い(皇紀二六六八年)最大最古の国であります、これも当たり前前の事ですけれども、神様の恵みとあわせて心から感謝し、心も豊かに過ごしたいものです。ご多幸ご健勝を心お祈り申し上げます。

四月の祭典行事の報告

竹の子島金刀比羅宮例祭

* 四月五日、四月六日



お旅所の祭典奉仕



笛を奏でる宮司

福浦稲荷神社例祭 * 四月六日

福浦金刀比羅宮境内の稲荷社例祭

舟島祭 * 四月十二日

巖流島の鎮守様舟島神社例祭と巖流
佐々木小次郎剣客の慰霊祭を肅行



舟島祭



慰霊祭

ミサイル艇「しらたか」参拝
* 四月十七日



支部施設慰問 * 四月二十二日

下関市永田郷の陽光園苑生に柴田宮

司講話



昭和祭 * 四月二十九日

サイ上り神事協議会を開催



境内の桜も満開でした



五月の祭典行事予定

衣替え 五月五日の立夏

塩釜神社例祭 * 五月六日

福浦金刀比羅宮例祭* 五月十七日、十八日

お神輿の巡幸があります！

朝粥会 * 五月二十一日

五月の宮司の予定

玄洋中学校PTA総会出席 * 五月九日

当宮早起会総会出席 * 五月十一日

美祢社会復帰促進センター 教護活動

* 五月十二日、美祢市へ出向

神社庁教学研究会 神道政治連盟県議会議員懇話会発会式出席 * 五月十三日

しおかぜの里保育園園監査会出席

* 五月十六日

早鞆高校菁菁館育友会委員会、歓送迎会

出席 * 五月十九日

支部式年遵宮対策委員会出席

* 五月二十日

迫町自治会役員会 * 五月二十一日

玄洋中学校PTA常任委員会出席

* 五月二十二日

当宮総代会出席 * 五月二十四日

当宮敬神婦人会総会出席

* 五月二十五日

中国地区社頭講話研修会出席の為、岡山市へ出張 * 五月二十六日、二十七日

山口県青年神職会創立六十周年奉告祭奉

仕、式典出席 * 五月二十八日

当宮奉賛会役員会出席 * 五月二十九日

玄洋中学校PTA 歓送迎会 * 五月三十日

市中学校PTA連合会総会 * 五月三十一日